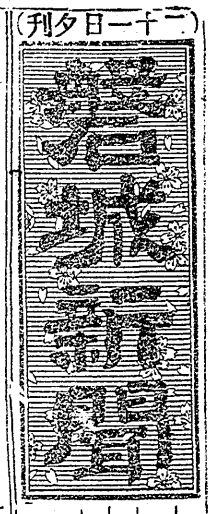
大正十年四月二十二日第三種郵便物認可　昭和五年八月二十二日　聖城新聞　第二千九百五十二號

二十一日夕刊



休刊　大祭日　第一、第三日曜
定價　一ヶ月　二錢　郵稅　六十錢　十五錢
廣告料　壹行六十錢　指定廿錢
福島縣平町四町十六番地
發行所　聖城新聞社
電話五六四番
發行兼編輯人　藤澤

傷心

月岡生

神經が歪んで泣いた街路
のぬかるみで
酒精の觸子に抱きすくめ
られてしまつた心臓よ
燃ねあがることを失つた
いのちの流轉が
蒼白い死の疑結さへ怖れ
なかつたから
なまぬるい風の素足もよ
かつたらう。
蝕まれた肺臓患者のうれ
しい吐息が
風のまん中で、跳ねて踊
つて疲れて泣いて死ぬん
だらう、死ぬんだらう
歪んだ街路のぬかるみで
拾つた花が黒いから
冷たい唇の紅のはげたの
もよかつたらう。
苦活の生娘のまゝで居れ
ない浮氣だから
紫紺の煙草の輪をくゞつ
て泣き笑ひ
あゝ　何時になつたら眞
實か純情と握手の花を咲
かすだらう
酒精のうたでひよろ〳〵
と育つた運命だから
鞭でうたれてからつぽの
心臓を抱いて死ぬのもよ
かつたらう。

魔風

大河内生

不景氣の魔風は
果てから果てまで
青く吹く
生活難の焦慮
吐息や吐息
生活が鍛よ
此の闘風はいつ靜止する
や
歎息時代の
吐息はいつ消ゆるや

夏の夜

清美生

陽は憂鬱にかたむく頃
沒落の闇へ辿るものは
雲である――
あゝ此のあわたゞしさよ
入陽に空は燒け焦がれて
燃ふる
煙ふる
空は煙ふる

焦熱地獄から刎りはなさ
れて
處女は笑よ
丘の上の月の中だ
白銀の月の中から影が落
下する
見えた……
影が行く
まろきはの影が行く
月は河の中へおつこちて
水のやうに流れて去つた

心の花

曙月生

妾の心に花咲く日に
何の花だか知らないが
とてもシャンなのが咲い
たのよ

○

妾の心は淋しいの
妾の心は憂鬱よ
その花咲いたその日から
とても明るく成つたのよ

○

何の花でせうその花は？
スエトーピかよひなげし
か？
それとも紅のチューリッ
プ？
それとも紅のばらの花

○

明るく成つた心には
咲いたその花香るのよ
香るその花何の花
憂を意味する
すゞらんか

明日　吉の日
六月　舊廿日　新月廿日
八月　凶日　曆八日　曆二日

▲一白の人　社交上にも我が財力を考へざれば窮すべし▲二黑の人　変換する文書は注意せざれば憂の種となる▲三碧の人　非常の困難に逢へども退守すべき日に非ず▲四綠の人　表に無事に見へても内に憂の潜み居る凶日▲五黃の人　人と競爭するときは結果は失敗に終るべし▲六白の人　永第〳〵と外界に伸び行く日物始めに吉し▲七赤の人　自重し連めば大吉横事を推せば失敗あり▲八白の人　調和を破らぬやうに注意し居れば吉日たり▲九紫の人　進むも宜しけれども分限を越さぬやう注意

講談

赤鞘安兵衛

東京　桃川燕二演
村田月光筆
（三十）

亭主は頭を掻いて「然う仰しやられゝばお話しいたしますが、此の邊に近頃恐ろしい强賊が徘徊いたします、其の賊と申すのが年若く

な武士で、荷物を連尺に背負ひ羊羹色の紋付を着けて一人で歩きます、丁度あなた様ソックリなのでして」……「控へろ、拙者は賊ではない――」「ヘエ、是れは飛んだことを申し上げましたが、何しろ賊は年若でございます、まして一人とは働かん、迂散なものではないぞ」――「ヘエ、是れは無心でして……」――「ヘエ、是れは無心でして……」――「ヘエ、是れは無心でして……

平町民體育大會
今日磐校庭で
奏樂裡に入場式を終り
爭覇の幕を開く

第四回平町民体育大會は今廿一日磐中グラウンドに於て開催せられた此の日天氣清朗定刻十時には觀衆無慮數千を數へられ、崇高な音樂の吹奏と共に平町各町青年團十六區選手二百餘名の入場式あり君ケ代合唱終て會長伏見町長の開會の辭に次ぎ審判長山崎光雄氏の審判に關する訓示及び選手代表の宣誓小野副審判長指揮の下に選手一同の合同体操ありて後昨年以來の雪辱此時此の日と各選手の意氣物々しく接戰又接戰しのぎを削り肉彈相打つ一大爭覇戰の幕は切て落された正十二時迄の戰闘は左の如！

（柔道）一等　六七町目五點安齋利三郎　二等四點十九區高橋強　三等三點田町石坂一雄　四等二點白銀町大塚八郎　五等一點四町目加藤勇吉

（劍道）一等五點四丁目片寄牟三郎　二等四點田町館内安治　三等三點研町桐原英純　四等二黑新川町山名隆雄　五等一點久保町荒川一郎

（角力）一等新川町木之内房吉四點　長橋町小菅栄之助三等　鎌田町高島鶏吉　四等七區山崎善德

（弓道）一等鎌田町横山栄太郎　二等鎌田町平野井留藏　三等磐中生横内直中　四等磐中生神長倉名、江名七名、赤井六名、夏井五名、神谷五名、飯野平八郎　二等松本善明　三等青木春松　四等郡司久一郎　五等猪狩勝藏（一千五百米）一等江尻寅吉　二等青木春松　三等小野四郎　二等丸山儀春　三等地と炭礦地帶に此等の傳等五十嵐秀丸　四等鈴木滿　五等渡邊秀之染病が猛威を振ひ山間方部（千五百米）一等　東海林龜作二等鈴木義雄　三等鈴木辰雄　四等大谷豐次　五等長谷川德代

（砲丸投正選手）十米七七一等高根澤秀雄　二等青天目源一郎　三等小野五郎　四等吉田好男　五等平野井弘

（百米正選手）十一秒六石田伸六郎　二等青天目源一郎

（百米正選手）十一秒二一等會川源三　二等志賀幸平

（百米正選手）記錄不明一等石川巴　二等平野井弘

（角力正選手）一等鎌田小林久吾　二等高橋勝三等岡崎榮助　四等深谷市三郎

名、江名七名、赤井六名、夏井五名、神谷五名、飯野平八郎　二等松本善明　三等青木春松　四等郡司久一郎　五等猪狩勝藏（一千五百米）一等江尻寅吉　二等青天目源一郎　三等小野四郎　二等丸山儀春　三等地と炭礦地帶に此等の傳等五十嵐秀丸　四等鈴木滿　五等渡邊秀之染病が猛威を振ひ山間方部（千五百米）一等　東海林龜作二等鈴木義雄　三等鈴木辰雄　四等大谷豐次　五等長谷川德代

（砲丸投正選手）十米七七一等高根澤秀雄　二等青天目源一郎　三等小野五郎　四等吉田好男　五等平野井弘

（百米正選手）十一秒六石田伸六郎　二等青天目源一郎

（百米正選手）十一秒二一等會川源三　二等志賀幸平

（百米正選手）記錄不明一等石川巴　二等平野井弘

（角力正選手）一等鎌田小林久吾　二等高橋勝三等岡崎榮助　四等深谷市三郎

清　五等磐中生大谷武

（砲丸）一等吉田常太郎　二等平野井弘　三等田代豊吉　四等吉野邊三郎　五等堀久治

（百米豫選）一等鎌田七三郎　二等山崎宗之助　三等橋源次郎

（第二回百米決勝）一等水谷仁　二等高木登　三等吉田常太郎

（百米）一等高根澤秀雄　二等山野邊二郎　三等佐藤清長

（百米）一等小林與一　二等村上明　三等佐藤米雄

（百米）一等鈴木辰雄　二等佐藤政雄　三等水竹伊明

（百米）一等松田茂男　二等石坂一雄　三等加藤藤

平町地方傳染病
猖獗を極む
都會と炭礦地に多く
海濱地には殆んどなし

平地方の傳染病は猛烈な勢いで郡内各町村に傳播しつゝあるので平警察署では管内町村當局と協力この豫防につとめてゐるが、今年一月から今日現在の患者數は腸チブス七十六名、パラチブス九名、デフテリヤ五十六名、赤痢二十五名、猖紅熱二名、疫痢十一名、合計百七十五名の多きに達してゐるが此れを前年同日までの發生數に比較して二十七名の大激增である町村別にすると最も多いのは平町の四十三名次で内郷村二十六名、磐崎二十五名、湯本町十七名、好間村十名、小名濱八名、江名七名、赤井六名、夏井五名、神谷五名、飯野平八郎　二等松本善明　三等青木春松　四等郡司久一郎　五等猪狩勝藏（一千五百米）一等江尻寅吉　二等青天目源一郎　三等小野四郎　二等丸山儀春　三等地と炭礦地帶に此等の傳等五十嵐秀丸　四等鈴木滿　五等渡邊秀之染病が猛威を振ひ山間方部（千五百米）一等　東海林龜作二等鈴木義雄　三等鈴木辰雄　四等大谷豐次　五等長谷川德代

（砲丸投正選手）十米七七一等高根澤秀雄　二等青天目源一郎　三等小野五郎　四等吉田好男　五等平野井弘

（百米正選手）十一秒六石田伸六郎　二等青天目源一郎

（百米正選手）十一秒二一等會川源三　二等志賀幸平

（百米正選手）記錄不明一等石川巴　二等平野井弘

（角力正選手）一等鎌田小林久吾　二等高橋勝三等岡崎榮助　四等深谷市三郎

石城郡内の
出納檢査
二班に分れて

石城郡所在各廳に對する縣參事會の出納檢査は左記日割で執行される

◆甲班　△八月二十五日植田町集合△二十六日植田警察署△二十七日水産試驗場△二十八日磐城中學校△二十九日平土木監督所△三十日解散▲松田甲次郎　三浦藤八　須藤千代之助　佐藤利助　鈴木辰三郎

◆乙班　△八月二十五日植田町集合△二十六日回春園△二十七日治療院△二十八日平警察署△二十九日磐城高等女學校△三十日解散△小松茂藤治　岩崎光衛　若松美三　物江浩　馬場長一郎

植田町も折れて
營林署敷地案
愈々貸與に應ずるに
大體の決定を見る

植田營林署の敷地決定の問題に就き舊植田小學校跡營林署當局では然る時價坪二十數圓し將來益々有望な地であるから營林省の要求は餘りに虫がよ過ぎるので議論百十餘圓の豫算なので町當局には交渉の餘地なしと拒絶したので更に本町いせや寒物々しく接戰又接戰しのぎを削り肉彈相打つ一大爭覇戰の幕は切て落された正十二時迄の戰闘は左の如！

（柔道）一等　六七町目五點安齋利三郎　二等四點十九區高橋強　三等三點田町石坂一雄　四等二點白銀町大塚八郎　五等一點四町目加藤勇吉

（劍道）一等五點四丁目片寄牟三郎　二等四點田町館内安治　三等三點研町桐原英純　四等二黑新川町山名隆雄　五等一點久保町荒川一郎

（角力）一等新川町木之内房吉四點　長橋町小菅栄之助三等　鎌田町高島鶏吉　四等七區山崎善德

（弓道）一等鎌田町横山栄太郎　二等鎌田町平野井留藏　三等磐中生横内直中　四等磐中生神長倉名、赤痢二十五名、猖紅熱二名、疫痢十一名、合計百七十五名の多きに達してゐるが此れを前年同日までの發生數に比較して二十七名の大激增である町村別にすると最も多いのは平町の四十三名次で内郷村二十六名、磐崎二十五名、湯本町十七名、好間村十名、小名濱八名、江名七名、赤井六名、夏井五名、神谷五名、飯野平八郎　二等松本善明　三等青木春松　四等郡司久一郎　五等猪狩勝藏（一千五百米）一等江尻寅吉　二等青天目源一郎　三等小野四郎　二等丸山儀春　三等地と炭礦地帶に此等の傳等五十嵐秀丸　四等鈴木滿　五等渡邊秀之染病が猛威を振ひ山間方部（千五百米）一等　東海林龜作二等鈴木義雄　三等鈴木辰雄　四等大谷豐次　五等長谷川德代

（砲丸投正選手）十米七七一等高根澤秀雄　二等青天目源一郎　三等小野五郎　四等吉田好男　五等平野井弘

（百米正選手）十一秒六石田伸六郎　二等青天目源一郎

（百米正選手）十一秒二一等會川源三　二等志賀幸平

（百米正選手）記錄不明一等石川巴　二等平野井弘

（角力正選手）一等鎌田小林久吾　二等高橋勝三等岡崎榮助　四等深谷市三郎

三井炭礦の
殘務諸整理は
全部今月限りで
炭界より姿を消す

去月限りで休山した三井炭礦では五年度の繰越納炭四十八日平警察署△二十九日磐城高等女學校△三十日解散△小松茂藤治　岩崎光衛　若松美三　物江浩　馬場長一郎

◆甲班　△八月二十五日植田町集合△二十六日植田警察署△二十七日水産試驗場△二十八日磐城中學校△二十九日平土木監督所△三十日解散▲松田甲次郎　三浦藤八　須藤千代之助　佐藤利助　鈴木辰三郎

◆乙班　△八月二十五日植田町集合△二十六日回春園△二十七日治療院△二十八日平警察署△二十九日磐城高等女學校△三十日解散△小松茂藤治　岩崎光衛　若松美三　物江浩　馬場長一郎

五百圓を仕拂ふべしとの判決あつたので敗告和田は直に平町安藤辯護人を代理として控訴論いら訴去る十八日宮城控訴院に於て原告キミの敗訴となつた

三井炭礦の
殘務諸整理は
全部今月限りで
炭界より姿を消す

去月限りで休山した三井炭礦では五年度の繰越納炭四萬五千噸（内切込二萬五千噸）が僅かに一萬噸内外を納めたに過ぎないため同礦では取敢ず契約を解約すると同時に山元貯炭をもつて新たに千百噸の契約となし去る一日から納入して來たが二十一日までには納入濟みとなり一方納炭以外の分（營業炭）も二十七八日ころまでに一塊ものこさず全部送炭を了し更に山元の各建物等も月末までにそれ〳〵處分されるのでこれによつて三井炭礦は名實共に常磐炭礦界から姿を消す事となつた

三井坑の
失業者を
縣が救濟

石城郡磐崎村三井炭礦の休業勞働者の行つた陳情は就職斡旋に務むるは勿論救濟策も講ずる樣に通牒した

内郷村不動澤
爭議は
不成功か

石城郡内郷村大字白水不動澤炭礦の解雇者廿四名は日本大衆黨支部の應援で爭議團を設け十九日午後田中利勝氏外數名の委員を擧げ解雇者增額外數項の要求をなしたが會社側では拒絶し爭議團は同夜支部に演說會を開いたが聽衆僅に廿餘名で氣勢昂らず結局有耶無耶になるではなからうかと見られてゐる

四倉國産愛用
敗訴す

八月二十六日午後二時より四倉町小學校に於て國産品受用講演會並に活動寫眞等ある筈

度量衡檢査
來る

八月二十二日二十三日兩日に亘り四倉町役場内に於て度量衡檢査が有る筈

勿來町の
芝居舞臺で
生蕃の踊子
赤子を生む

石城郡勿來町共樂座で去る八日興行した臺灣生蕃娘ハナ舞踊團の踊子生蕃娘ハナ（二〇假名）は姙娠中であつたが同日午後八時頃踊の最中俄かに陣痛を催し幕が下りると間もなく舞臺内で出産したが親子共健全で一行からは取り殘され勿來町に滯在中だと

四倉町の
美化作業

四倉町小學校に於ては二十一日兒童召集日を利用して第二回美化作業を行つた町全體の清潔其の他一段と美化せられ大いに習はれて居る

夏期書道
講習會
平町平陽校で

第二回全國書道振興會並に夏期書道講習會は來る二十二日より平町平陽女學校内に開催するが講師は斯道の大家松崎春川氏である講習料は五十錢で持參品は筆墨、紙用具一切で申込所は平町胡摩澤管城會石城支部宛であると

石城各濱
鰹漁高
優良船は一萬五千圓を突破

石城郡江名、四倉、豊間等各濱にたける鰹漁は比較的豊漁で優秀漁船はすでに漁獲高一萬五千圓を突破したが不景氣の影響から相場が暴落一濱には六、七掛となり一尾四、五十錢といふ有樣で平均漁獲高は七千圓内外で縣下四十隻の鰹漁船の總漁獲高は目下のところ約三十萬圓内外であると

四倉町で
舞踏の夕
海盛座で

四倉町海盛座に於て二十四日午後六時より四倉町青年團主催にて舞踏の夕を催す筈

平郵便局で
危く貯金詐欺
局員の注意で發見
犯人遂ひに逃走

平町郵便局窓口に十九日午前十一時ころ年齢廿四五歳くらゐの洋服姿の男が來て湯本町佐藤某名義現金百四拾廿圓の預金通帳を持つて三百五十圓の拂戻しを受けんとしたが去る六月廿日湯本局で八十圓預入れた際のスタンプが幾分普通局印より小さい感がしたので係員が不審に思ひ湯本局に問ひ合せたところ當日は日曜であるから受入れる筈がないと回答を得危ふく詐欺を免れたがくだんの男は逃走したので目下平署で捜査中

住職の慈善

石城郡上遠野村字瀧油座うの(九)は去る十五日午後二時頃出水した同村内の鮫川に轉落しわわや溺死せんとして居るところを通りかゝいくらこつちで我慢してもつた同郡田人村字黒田小宅借金取が待つて居ないつて淺次郎(四六)同郡川部村字小川齋藤一(二〇)の兩名が發見しろ」が同情するよ

人命救助
表彰方
縣に申請

石城郡上遠野村字瀧油座うの(九)は去る十五日午後二時頃出水した同村内の鮫川に轉落しわわや溺死せんとして居るところを通りかゝいくらこつちで我慢してもつた同郡田人村字黒田小宅借金取が待つて居ないつて淺次郎(四六)同郡川部村字小川齋藤一(二〇)の兩名が發見しろ」が同情するよ

二人は危險を冒してうめを救助したので檢出署では表彰方を縣當局に申請した

四倉町の
窃盗犯
四倉署に檢擧

四倉町字仲町生れ當時住所不定古川竹松(二〇)は去る八月十一日午後二時頃四倉海岸脱衣場に於いて現金約五圓他に金側時計二個を窃取したる外七回に亘り五十餘圓を窃取せる事を自白した

藤原局
移轉に決定
三井廢坑の爲

石城郡磐崎村大字藤原の三井廢坑の爲石城郡江名、四倉、豊間等の各濱にたける鰹漁は比較的豊漁で優秀漁船はすでに漁獲高一萬五千圓を突破したが不景氣の影響から相場が暴落一濱には六、七掛となり一尾四、五十錢といふ有樣で平均漁獲高は七千圓内外で縣下四十隻の鰹漁船の總漁獲高は目下のところ約三十萬圓内外であると

四倉町で
不良横行
署員が取締り

四倉町本町東通りに近頃毎夜の如く不良分子一團が横行し通行の婦女子等を冷かし或ひは誘惑やんとの擧動に出るもの多いので婦女子等は夜の通行をたそれてゐると四倉署に於て嚴重取締をなし居る筈

◇福澤の挑チャン

をいつても好いお爺さんだが、こんなことを言つてる、今度の財界の革命は明治維新後初めてのことで、日本では三度目の昭和維新といふものだ◇明治維新のゴタ〳〵の騒ぎにウマクやつて三井や岩崎がた籠を起し、今でも大威張りでゐる基をつくつたものだ、第二の維新の今日に一つ當れば三井や三菱奏を喰らへといふものだとサ◇今に平あたりにもウント成金が出來て、藝者の玉代にもプレミアムがつくようになるかも知れない、マアそれまでは腹を減らして時頃出水した同村内の鮫川に轉落しわわや溺死せんとして居るところを通りかゝいくらこつちで我慢してもつた同郡田人村字黒田小宅借金取が待つて居ないつて淺次郎(四六)同郡川部村字小川齋藤一(二〇)の兩名が發見しろ」が同情するよ

貸切
料金大破格
値下斷行
磐城タクシーへ
電話四五四番
平驛前

大暴落品入荷!!この安値!!
八月二十二日より七日間
絹綿布實用品大廉賣
御贈答用品には御恰好な適品を各種取揃へて御座います。
御仕着せにはお德用な實用品店内豊富破格の廉價提供
是非御用命お願申上ます。
三井の超特價
本場久留米紺絣　一圓九十五錢
松山紺絣　一圓五十錢
正紺機色　九十八錢
遠州正紺縞　七十五錢
白縞　四十五錢
東京中形　八十錢
婦人倶樂部浴衣　一圓八十錢
蒲團縞　五十五錢
洋傘　一圓、一圓五十錢
白キヤラコ足袋二足　十八錢
吉凶御引物用反物豊富に取揃へ特に廉價提供致します
平町三丁目
三井吳服店

皆樣御待兼ねの
日本麻雀倶樂部
愈々本日から開業致しました。
どうぞ御出で下さい。
初心者には特に親切に御教へいたします。
當倶樂部の獨特の仕組は必ずや、皆樣の白熱的歡迎を受けるものと信じます。
西村横町梅月裏

農業經濟合理化話
安城農村學校内にて
葉谷久太郎氏投

八月十八日
京都帝大教授農博橋本傳左ヱ門先生の「農業經營の合理化」の御話

一、勞力經濟の合理化
中づく自家勞力を一年中萬遺なく使ふ事而して無駄を省き能率を發揮する經營組織の改善勿論なるも機械及び電化の如きは最後の目的たる農家所得の如何を考慮すべきであると

二、土地利用の合理化
收穫遞減の法則はあるにしても富民協會の競作に見ても土地の利用はまだまだ半分にも達せず

三、交換經濟の合理化
吾々農民は資本主義の立てる市場に對してわづかの資本による對抗するのであるから大きにより自家の必要なものは大部分自家にて生産する事長野縣が全國第一に蠶糸産業に深手を受けたるを見ても交換經濟が如何に危險であるかゞ窺はれる對資本主義の用意自覺せる農民農政の合理化、組合共同圖体の立派な組織によつて對抗せねばならん

四、記帳
吾石城郡地方にては特にこの點に注意を拂はねばならんと思ふ、記帳なき農業に經營の改善理想信念の發立し得る道理がない、要は農民の頭の開拓である

午後からは一同作業服に着かいて郡産業組合、甲荷組合、農業倉庫の實地見學をなす、町の貧弱さに比べてその建物の高壯なる事校長の御談があつた。

談話會後前岩潮農學校長宮田文雄先生現安城農林學校長の御談があつた。

飯野村の
慰藉料訴訟
原告遂ひに
敗訴す

八月二十六日午後二時より四倉町小學校に於て國産品受用講演會並に活動寫眞等ある筈

度量衡檢査
來る

八月二十二日二十三日兩日に亘り四倉町役場内に於て度量衡檢査が有る筈

勿來町の
芝居舞臺で
生蕃の踊子
赤子を生む

石城郡勿來町共樂座で去る八日興行した臺灣生蕃娘ハナ舞踊團の踊子生蕃娘ハナ（二〇假名）は姙娠中であつたが同日午後八時頃踊の最中俄かに陣痛を催し幕が下りると間もなく舞臺内で出産したが親子共健全で一行からは取り殘され勿來町に滯在中だと

四倉町の
美化作業

四倉町小學校に於ては二十一日兒童召集日を利用して第二回美化作業を行つた町全體の清潔其の他一段と美化せられ大いに習はれて居る

夏期書道
講習會
平町平陽校で

第二回全國書道振興會並に夏期書道講習會は來る二十二日より平町平陽女學校内に開催するが講師は斯道の大家松崎春川氏である講習料は五十錢で持參品は筆墨、紙用具一切で申込所は平町胡摩澤管城會石城支部宛であると

石城各濱
鰹漁高
優良船は一萬五千圓を突破

石城郡江名、四倉、豊間等各濱にたける鰹漁は比較的豊漁で優秀漁船はすでに漁獲高一萬五千圓を突破したが不景氣の影響から相場が暴落一濱には六、七掛となり一尾四、五十錢といふ有樣で平均漁獲高は七千圓内外で縣下四十隻の鰹漁船の總漁獲高は目下のところ約三十萬圓内外であると

四倉町で
舞踏の夕
海盛座で

四倉町海盛座に於て二十四日午後六時より四倉町青年團主催にて舞踏の夕を催す筈

平郵便局で
危く貯金詐欺
局員の注意で發見
犯人遂ひに逃走

平町郵便局窓口に十九日午前十一時ころ年齢廿四五歳くらゐの洋服姿の男が來て湯本町佐藤某名義現金百四拾廿圓の預金通帳を持つて三百五十圓の拂戻しを受けんとしたが去る六月廿日湯本局で八十圓預入れた際のスタンプが幾分普通局印より小さい感がしたので係員が不審に思ひ湯本局に問ひ合せたところ當日は日曜であるから受入れる筈がないと回答を得危ふく詐欺を免れたがくだんの男は逃走したので目下平署で捜査中

住職の慈善

石城郡上遠野村字瀧油座うの(九)は去る十五日午後二時頃出水した同村内の鮫川に轉落しわわや溺死せんとして居るところを通りかゝいくらこつちで我慢してもつた同郡田人村字黒田小宅借金取が待つて居ないつて淺次郎(四六)同郡川部村字小川齋藤一(二〇)の兩名が發見しろ」が同情するよ

人命救助
表彰方
縣に申請

石城郡上遠野村字瀧油座うの(九)は去る十五日午後二時頃出水した同村内の鮫川に轉落しわわや溺死せんとして居るところを通りかゝいくらこつちで我慢してもつた同郡田人村字黒田小宅借金取が待つて居ないつて淺次郎(四六)同郡川部村字小川齋藤一(二〇)の兩名が發見しろ」が同情するよ